

# 栄養食事指導手順書

令和5年10月  
医療法人中川会飛鳥病院  
食事療養委員会

## 1.目的

チーム医療の一員として、適切な栄養アセスメントや栄養指導を実践することで、患者・対象者の食生活を変容させて、栄養状態や食事の内容、取り方などを改善し、健康の維持・増進、疾病の予防や治療に寄与することを目的とする。

## 2.適用範囲

患者に対する栄養アセスメントから栄養指導に関する一切の工程を適用範囲とする。

## 3.責任・担当

個別栄養指導における責任・担当は下記のとおり。

- 必要性の提言……………管理栄養士、医師、看護師
- 実施の指示……………医師
- 目標及び計画の立案……………管理栄養士
- 目標及び計画の承認……………管理栄養士、医師
- 実施……………管理栄養士
- 実施効果の検証……………管理栄養士、医師

## 4.業務フロー（個別栄養指導）

プロセス	担当者	手順	参照文書・記録等
栄養指導 必要性の提案	管理栄養士 医師 看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者状態を確認し、栄養に関する指導及び管理が必要なことを確認する。</li> <li>医師にその理由を伝え、栄養指導の必要性を提案する。</li> </ul>	
医師の指示箋の発行	医師 管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師は「栄養食事指導依頼箋」(様式第1号)を発行し、栄養部門に指導の実施を依頼する。</li> <li>担当管理栄養士は「栄養食事指導依頼箋」を確認する。</li> </ul>	栄養食事指導依頼箋
対象患者の確認	管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導の具体的方法を検討する。</li> <li>必要な資料を準備。また、対象者の「診療録」を確認し、あらかじめ必要な情報を把握する。</li> </ul>	栄養食事指導依頼箋 診療録
実施	管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>初回に、「栄養食事指導依頼箋」をもとにインタビューを行う。</li> <li>患者それぞれの状態に合わせて指導を行うが、特に下記の事項をポイントとして確認する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>生活スタイル</li> <li>家族歴</li> <li>病歴</li> <li>その他</li> </ol> </li> <li>「栄養食事指導依頼箋」に定められた患者ごとの目標と達成のために必要な実施事項を説明し、同意を得る。</li> <li>インタビューの結果、目標に修正が必要な場合、必要に応じて「栄養食事指導依頼箋」へ記入。</li> <li>指導内容を資料に付加して記録し、患者へ渡す。また、次回までの目標を設定し、患者に伝える。自発を促すために、可能な場合、患者本人に記録をとってもらう。</li> </ul>	栄養食事指導依頼箋 紙媒体資料
報告	管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導の結果を「栄養食事指導依頼箋」にまとめ、診療録へ保管し、医師へ報告する。</li> <li>医師は報告を確認する。必要に応じて、再指導等の検討を行う。</li> <li>医事課へ「栄養食事指導実施報告書」を提出する。</li> </ul>	栄養食事指導実施報告書
患者目標の継続管理	管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の患者が目標を達成できたかどうかを定期的に確認する。ただし、すべての患者ではなく、下記に該当する場合に限る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>医師が指定した場合</li> <li>管理栄養士が必要と判断した場合</li> </ol> </li> <li>下記の理由の場合は、上記から適用除外とする。               <ol style="list-style-type: none"> <li>目標を達成した場合</li> <li>患者本人が指導を不要と希望した場合</li> </ol> </li> <li>継続管理の記録を「栄養管理計画書」に残す。</li> </ul>	栄養管理計画書

## 5. 栄養指導における各プロセスと注意点

栄養指導計画は、下表のとおり実施すること。

プロセス	実施項目	必要文書・記録	実施における注意点
指導計画	目標 方法 時間帯	栄養食事指導依頼箋	医師の立案した依頼箋及び検査データ、活動データを確認し、管理栄養士の立場から指導計画を検証し必要な場合医師に問い合わせる。また、患者に目標などを説明し、同意を得た上で指導を開始する。
問題点の把握	検診 食事記録 面接等 目標設定	栄養食事指導依頼箋 栄養管理計画書	患者の話の中で、確認できた問題点について、簡潔にまとめる。できる限り、その場で患者に問題点を伝達し、説明と同意の下で栄養指導を行うことが出来るようにする。
実態把握・ 指導の実施・ 評価	食生活や健康状態 栄養に対する知識の程度 生活環境 生活行動 評価項目に基づく指導の実施 対象者の理解度 行動の変化等	栄養食事指導依頼箋 栄養管理計画書	患者の食生活を適切に把握するため、患者自身から自分の食生活を話してもらえるような質問をする。決め付けや誘導などは行わない。

## 6. 栄養食事指導基準

- 糖尿病、脂質異常症、高度肥満症（BMI35以上）、高尿酸血症、貧血、肝臓病、胃潰瘍、心臓病、腎臓病などの疾患、摂食機能もしくは嚥下機能が低下した患者又は低栄養状態にある患者、およびその家族
- 入院栄養食事指導料は入院中2回を限度として算定する。ただし、1週間に1回を限度とする。初回概ね30分以上、2回目以降は概ね20分以上。
- 指導は各病棟面談室、またはベッドサイドで行う。  
プライバシーを考慮し、本人、同室患者の了解を得る。
- 指導内容は栄養食事指導依頼箋に記録後、診療録へ保管し、主治医、担当看護師との情報共有を図る。  
栄養食事指導依頼箋の複写を栄養科にて保管し、栄養食事指導・相談者リストへ記録する。
- 医事課へ栄養食事指導実施報告書を提出する。

この手順書は、給食委員会の議決の日（令和5年10月16日）の翌日から適用する。  
なお、従前の栄養食事指導手順書（平成23年3月10日制定）は、廃止する。

ID : 氏名 _____ 様(男・女) _____ 年 _____ 月 _____ 日生(才) 病棟 _____	1 : 個人指導を依頼します ( 初回 ・ 継続 ) 2 : 集団指導を依頼します ( 初回 ・ 継続 ) 3 : 退院時指導を依頼します 個別指導予約日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 集団指導予約日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 退院予約日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 入院 ・ 外来 入院 ・ 外来															
担当医 _____ 病名 _____ 合併症 _____ 身長 _____ cm 体重 _____ kg 標準体重 _____ kg	指示食種 1 : たんぱく質コントロール食 2 : エネルギーコントロール食 3 : 脂肪コントロール食 4 : その他( _____ ) ※約束指示基準にない場合は下欄の提示量に基づいて行う。															
<提示量> エネルギー量 (提示量 _____ kcal ) たんぱく質量 (提示量 _____ g ) 脂質量 エネルギー量の25%以内 熱量構成 たんぱく質13~20% 脂質20~25% 糖質50~62%																
<担当医から管理栄養士への指示及び連絡事項> 特に注目する検査値 ( _____ 年 _____ 月 _____ 日 ) <table style="width:100%; border: none;"> <tr> <td style="width:30%;">血糖 _____ mg</td> <td style="width:30%;">Hb _____ g/dl</td> <td style="width:40%;">*現在の使用薬剤 有 無 ( _____ )</td> </tr> <tr> <td>HbA1c _____ %</td> <td>Alb _____ g/dl</td> <td>*酒量 やめる ひかえる</td> </tr> <tr> <td>LDL-Chol _____ mg/dl</td> <td>血圧 _____ / _____ mmHg</td> <td>*運動量 増やす ひかえる</td> </tr> <tr> <td>HDL-Chol _____ mg/dl</td> <td>_____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TG _____ mg/dl</td> <td>_____</td> <td></td> </tr> </table>		血糖 _____ mg	Hb _____ g/dl	*現在の使用薬剤 有 無 ( _____ )	HbA1c _____ %	Alb _____ g/dl	*酒量 やめる ひかえる	LDL-Chol _____ mg/dl	血圧 _____ / _____ mmHg	*運動量 増やす ひかえる	HDL-Chol _____ mg/dl	_____		TG _____ mg/dl	_____	
血糖 _____ mg	Hb _____ g/dl	*現在の使用薬剤 有 無 ( _____ )														
HbA1c _____ %	Alb _____ g/dl	*酒量 やめる ひかえる														
LDL-Chol _____ mg/dl	血圧 _____ / _____ mmHg	*運動量 増やす ひかえる														
HDL-Chol _____ mg/dl	_____															
TG _____ mg/dl	_____															
<管理栄養士から担当医への報告> *対象者情報     *食習慣情報 調理担当者 本人 家族 味付け 甘口 辛口 普通 淡口 濃口 偏食 好きなもの 嫌いなもの 外食の回数 _____ 加工食品の使用頻度 _____ 食事に要する時間 _____ 嗜好品 タバコ 1日 _____ 本 アルコール _____ コーヒー・紅茶 1日 _____ 杯 砂糖 _____ 杯 その他飲料 _____																
*指導内容 1. 食事療法の意義、動機づけ 2. 栄養の基礎知識 3. 食品構成と食事計画 4. 食品交換表 5. 嗜好食品・外食 6. アルコール 7. 運動 8. 具体的な料理 9. 減塩 10. 退院後の食事についての注意点  *今後の方針 ・現状維持 ・食習慣の改善 ・その他 ( _____ )																
*指導評価 量 : 良 やや不良 不良 バランス : 良 やや不良 不良 取り組み方 : 良 やや不良 不良 再指導 : 要 不要																
個人指導 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分 集団指導 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分 個人担当管理栄養士 ( _____ ) 集団担当管理栄養士 ( _____ )																